



ペットを飼っているみなさん 災害対応について

考えてみましょう

災害が起こった時、
ペットはどうすれば
いいのかしら？



「同行避難※」って
よく聞くけれど、
実際どうしたら
いいのかしら？



東日本大震災では、家に残されたペットが放浪して問題になったり、一旦避難した方がペットを助けるために帰宅して被害にあってしまうということがありました。令和元年東日本台風（台風19号）でも、ペットがいることで逃げ遅れて救助されたり、避難所でトラブルになるケースがありました。

災害時、あなたとあなたの大切なペットを守るために・・・

いま、飼い主としてできることは？

突然地震が
起こったら？

驚いたペットは逃げてしまうかも。また飼い主だけが救助されてペットは別の場所に保護されるかもしれません。

→どうやって見つけたり、避難しますか？

大雨による避難指示が
発表されたら？

近隣の指定避難所ではペットを受け入れていないかも。猫がつかまらなくて避難できないという話も。雨の中、避難用品も増えて思い通りに避難できないかも。

→いざというとき、同行避難できますか？家に置いていきますか？



避難所では、ペットのにおいや鳴き声、アレルギーなどによるトラブルが考えられます。避難生活が長期化するとますます心配です。



※「同行避難」とは

避難所までの避難行動（行為）のことです。避難所で、ペットと飼い主が同じスペースで一緒に過ごすこと（同伴避難）とはちがいます。

詳しくは、「災害、あなたとペットは大丈夫？」人とペットの災害対策ガイドライン（一般飼い主編）をご覧ください。

環境省ホームページ





平時にやっておきたいこと

① 混合ワクチン接種や寄生虫の駆除、繁殖制限手術の実施

避難所やペットホテルで動物の感染症から守ることができます。また施設によっては、これらを済ませていないと預かってもらえないことがあります。なお、犬では登録や狂犬病予防注射が義務付けられています。繁殖制限手術をしておく、管理しやすくなるとともに、逃げてしまった時の望まない繁殖を防ぐことができます。



② しつけやトレーニング

速やかにつかまえて避難したり、他の人や動物とトラブルを起こさないよう、最低限のしつけは必要です。また、ケージやキャリーバッグに慣らしたり、トイレトレーニングもしておきましょう。



③ 所有者明示

突然の地震に驚いて逃げてしまったり、避難の際にはぐれてしまうこともあります。迷子札や犬の場合は鑑札、注射済票をつけておきましょう。また、マイクロチップを挿入しておく、外れることがないので安心です。



④ ペットの避難セットの準備

人の避難セットとは別にペットの避難セットが必要です。キャリーバッグ、ペットフード、トイレシートや猫砂、水、常備薬などの準備をしましょう。荷物が多くなるので、どうやって運ぶか考えておくことも重要です。



⑤ 避難場所の確認

すべての指定避難所で同行避難を受け入れているとは限りません。また、避難所によって、ペットの受入場所が屋外になることもあります。市町村によっては、ペットホテルと提携し一時預かりしている場合もありますので、事前によく確認しましょう。また、避難生活の長期化に備え、親類や知人等に預けられるように相談しておくことが望まれます。



⑥ 防災訓練への参加や近隣との情報共有

地域によっては、防災訓練で同行避難の訓練を行っている場合があります。また、ペットがいる場合、地域外の避難所に避難する可能性もありますので、自治会などに避難先の情報共有をしておくことが望まれます。

伊那保健福祉事務所
食品・生活衛生課
伊那市荒井3497番地
電話 0265-76-6840

辰野町役場 住民税務課
生活環境係
辰野町中央1番地
電話 0266-41-1111(2114)